

議事録名：平成 31 年 4 月度介護医療連携推進会議			
日 時	平成 31 年 4 月 10 日 (水) 14:10~15:10	議事録	4 月 10 日
場 所	みんなの家 たじま 地域交流スペース		書記：O
出席者	<input type="checkbox"/> A 様 (国府津第 12 区自治会 会長) <input checked="" type="checkbox"/> B 様 (国府津第 12 区自治会 役員) <input checked="" type="checkbox"/> C 様 (国府津第 12 区自治会 役員) <input type="checkbox"/> D 様 (民生委員) <input checked="" type="checkbox"/> E 様 (民生委員) <input type="checkbox"/> F 様 (地域包括支援センターそが・しもそが・こうづ) <input type="checkbox"/> G 様 (小田原医師会訪問看護ステーション 管理者) <input checked="" type="checkbox"/> H 様 (潤生園在宅看護部 主任) <input type="checkbox"/> I 様 (山近訪問看護ステーション) <input type="checkbox"/> J 様 (小田原医師会訪問看護ステーション) <input type="checkbox"/> K 様 (有限会社 なかはま商会) <input type="checkbox"/> L 様 (鴨宮ケアセンター) <input type="checkbox"/> M 様 (鴨宮ケアセンター) <input checked="" type="checkbox"/> N (潤生園 訪問事業部 部長) <input type="checkbox"/> O 潤生園東部ホームヘルプサービス 管理者)		
			□出席、■欠席
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・出席者名簿 ・平成 30 年度 運営状況実績表 		以上、事前配付・当日配付
議題及び議事内容			議決事項
<p>① 開会の挨拶 管理者より開会の挨拶を行う。</p> <p>② 出席者の紹介 参加者の自己紹介を行う。</p> <p>③ 平成 30 年度運営状況報告 別紙資料と共に運営状況について報告する。 1 月・・・終結者 1 名 休止 1 名 終結：入所の為。 休止：海外在住の家族が一時的に同居される為。4 月に帰国される為、サービス再開。 4 月・・・新規利用者 1 名予定。</p>			

④ 出席者からの質問や感想

民生委員 D 様

私が担当している地域は元気な方が多く、独居の方でも近所に家族が住んでいて困った時はサポートしているので課題はないと思われる。

鴨宮ケアセンター L 氏

定期巡回を 2 名利用している、2 名とも独居の方で普段は 1 日 1~2 回の訪問だが体調不良やデイサービスを休まれた時等は訪問回数を増やして対応してくれている。認知症や独居生活が難しい高齢者にはいいサービスです。

鴨宮ケアセンター M 氏

1 名利用している、服薬介助・安否確認で訪問してもらっている。本人は感情の浮き沈みがあるが今は安定している。定期的にヘルパーが訪問する事で良い効果がでていていると考えている。

なかはま商会 K 様

1 名利用している。要介護 1、糖尿病があり、服薬とインスリンの見守りを主に 1 日 3 回訪問している。介護度と比べて訪問時間・回数が過多になっている。区分変更をかけたがかわらず、2 度目で要介護 2 になった。定期巡回は月額の為、介護度によって料金が変わってくる。介護度の決め方に認知症状の重きをおいてもいいのかなと考えています。

小田原医師会訪問看護ステーション J 様

1 名利用している。認知症状が顕著になってきているが自分では元気だと思っているので他人が来ることを快く思っていなかったがヘルパーが訪問し始め、1~2 か月が経つと人が来ることに慣れ話をする事が多くなってきた。最初は拒否していたデイサービスも開始し、他のご利用者と一緒に過ごされ 4 月から週 2 回の利用になり介護者も安心している。

小田原医師会訪問看護ステーション G 様

現在、1 日 4 回、インスリン注射がある方がいる。道具を渡せば見守りでできるのですが定期巡回で対応する事は可能ですか？

→O

可能です。訪問時間やその他の生活のことなどアセスメントを行い、適正なサービス提供させていただきます。ご相談して頂きたいと思います。

山近訪問看護ステーション I 様

1 名利用している。介護者が就労で日中は独居になってしまう、服薬と安否確認で訪問してもらっています。ベッドからのずり落ちでの緊急コール対応も

助かっています。頻回にコールを押される方の場合はどのような対応をしていますか？

→〇

コールがあり、応答がない場合は出動し安否確認を行うことが基本になっています。コールが頻回にある時はその方がなぜコールを押すのかを考えています。排泄でのコールが多い場合はその方の排泄リズムを把握し、適切な時間やパット使用でコールが減少することがあります。

⑤ その他

次回の開催日は10月を予定。

時間・場所は追って連絡いたします。

回 覧

理事長	常務理事	経営本部	施設長・部長	課長・係長・主任